

放山山スキー

記 T村M

2024/3/10(日)日帰り

メンバー: T村M、T村E、D山

土日を利用して火打山から澄川を滑る予定だったが、天気は土曜日は雪、日曜は回復傾向だが午後から良くなる見込みで、かつ今年の雪不足で谷の状況がわからないため、その方面で日帰り行けるシャルマン火打スキー場から放山へ行った。

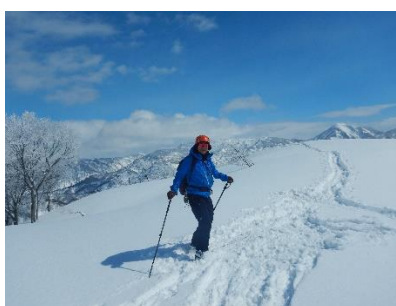
2024/3/10(日) 曇りのち晴れ

前日は風が強く放山への入山が禁止されていたため、シャルマン火打スキー場で午後半日ゲレンデスキー。例年より雪が少ないらしいが、圧雪エリアも硬くなくまた、前々日からの雪で良い感じの雪質で、普段ゲレンデで滑ることがないが、十分楽しめた。

ガスっているが、9:30 放山への入山が可能となったのでリフト1本を利用しゲレンデトップに到着。

ここから放山まで稜線が伸びている。ゲレンデトップから 100m ほど進んだところで、シールを装着。

この日は、風は弱まったが、視界があまり良くなく、先行者(この日は稜線を歩きの登山者1名、稜線沿いの沢型をスキーヤー1名)も少ない。稜線のアップダウンを進んでいくが天気は曇ったままで眺めは良くならない。



10:50 放山山頂着。山頂についてしばらくすると、雲が取れてきて焼山、火打山等の山々が見えてきた。長めの休憩を取って眺めを堪能した。



11:40 下山開始。下山は北斜面を下り1006mのピークの東側を通過し東側の尾根を北に620mまで下り尾根を東に巻いて南又川に架かる橋を渡りシャルマン火打スキー場に戻った。



2022年に同じコースを通ったが、稜線からの滑り出しは良かったが、1000m付近から、今年は雪がすくないため、沢筋が狭く細い通路のようになった。先行者のトレースを使い何とか滑れる状況だった。来年は楽しい滑りを期待したい。

12:56 駐車場着。道の駅名立でお風呂に入り帰京。雪は少なかったがゲレンデと山スキー両方楽しめた2日間でした。

コースタイム：9:30 ゲレンデトップ～9:33 シール装着ポイント～9:50 1000m～10:47 1189m～10:50 放山 11:40～11:54 ドロップポイント～12:14 1006mとのコル～12:20 950m右尾根～12:37 620mトラバース～12:40 渡渉橋～12:49 ゲレンデへの稜線～12:56 レストハウス